

親子の学び応援講座（川俣町PTA連絡協議会）

令和7年11月13日（木）川俣町PTA連絡協議会において、親子の学び応援講座を開催しました。県北教育事務所では、親子が共に学び育ち合う「家庭教育」を支援しています。震災後も音楽活動を続け、福島の復興を願い、希望を歌に込めて歌い続けているMANAMIさんの福島や家族に対する想いを聞くことで、自分の将来の夢、ふるさとに対する想いについて、親と子どもで改めて考える機会とするため実施しました。

震災がきっかけとなり、福島の歌を作った。私がよく乗っていた飯坂電車は震災の2日後には動いて、みんなに勇気をくれた電車だった。私の歌を聞いて「どんな電車だろう」「乗ってみたいな」と思ってくれた人がいた。少しでも福島のためになれた感じることができた。



～Familiar train～（歌詞一部）

雨の日も風の日もあの震災の二日後にだって走ってて
汽笛の音がみんなに勇気をくれた



講師 シンガーソングライター
MANAMI 氏

私は、小学校高学年から中学生の時は、反抗期だった。母親にありがとうを伝えられるようになったのは最近のことだったが、私が音楽を始めた時に、最初に応援してくれたのは歌手になることに反対していた母親だった。誰か一人でも自分のことを信じてくれる人がいたら頑張ることができる。恥ずかしがらずに素直にありがとうございますを伝えてほしい。

～みっちゃん～（歌詞一部）

みっちゃんの娘に生まれて
本当に良かったと心から思っている
けれど言葉にするのは照れくさいから
代わりにこの歌を

～夢への助走～（歌詞一部）

今抱えている不安はきっと夢を育てるために必要なんだ
今抱いている期待はきっと夢に近づいている証拠なんだ

何か好きなことや夢中になっていることがあったら、好きなだけ、とここんチャレンジしてほしい。それまでに、苦しいことや辛いこと、心が折れそうになることがたくさんあるかもしれないけれど、好きなことだから続けられる。

誰かを笑顔にしたいと思ったら、まず、自分が笑顔でいることが大事。誰かに元気を届けようと思ったら、まずは自分が元気でいなければいけない。まずは自分から一歩踏み出す勇気をもって、頑張ってほしい。私も頑張りたい。

～福島えがお～（歌詞一部）

ひとりではないんだとこのまちにいるとそう思える
子どもからお年寄りまで同じ気持ちで繋がっている
「このまちが好きだ」



【感想】

- MANAMIさんが「お母さんにちゃんとありがとうを言ってみよう」と言ってくれて、これからはありがとうといつてみようと思いました。（小学生）
- 自分のやりたいことを諦めなければいけないからって良かったと思える日が来ることを信じてこれからも夢に向かって頑張りたいと思いました。（中学生）
- お母さんへの感謝の気持ちを歌った『みっちゃん』は感動して涙を堪えるのが大変でした。MANAMIさんの思春期の頃の親に対する気持ちを聞いて、今後自分の子どものどんな夢でもちゃんと応援したいなと思いました。（保護者）

親子で一緒に学習をしたり、講演会を聞いたりすることが、家庭での会話のきっかけとなり、互いの気持ちを理解することや、親子の絆が深まることにつながることを期待しています。

県北教育事務所では、親子が共に学び、育ち合う「家庭教育」を今後も応援していきたいと思います。

家庭教育に関するお問い合わせは

県北教育事務所 総務社会教育課 伊藤まで

電話 024-521-2814

E-mail itou_emi_02@pref.fukushima.lg.jp